

## 文教厚生常任委員会記録

日 時 令和6年3月12日（火曜日）15時23分～15時41分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、磯野副委員長、平山委員、舟見委員、村上委員、村田議長  
森町長、三浦副町長、濱野教育長、葛西学校管理課長、酒井建設課長、  
三ツ橋学校教育係主事

オブザーバー 小寺議員、工藤議員、金木議員、逢坂議員、佐藤議員

事務局 渡辺局長、嶋元係長

阿部委員長

ただいまから文教厚生常任委員会を開催いたします。

本日の議題は、天売複合施設についてを調査案件としたいと思えます。

それでは、森町長が出席されていますので、一言いただいてから担当課より説明いただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

### 1 天売複合施設について

担当課説明

説明員 森町長、葛西学校管理課長

森町長 15:23～15:24

定例会最中のお疲れのところ急遽町のほうから阿部委員長のほうに申入れして、こういう機会をつくっていただきました。ありがとうございます。内容については、今委員長が言ったとおり、担当課のほうから説明させていただきますが、実際これまで様々な状況が変化しておりまして、大きく変わっていく可能性も今後包括しているということで、まず一番先に議会に現状報告したいということでもあります。今日の報告を終わって、議会開会中ということで、終了後、15日になりますけれども、天売島のほうに渡って、また住民の方に説明をしたいという段取りでおりますので、よろしく願いします。

それでは、説明のほうは担当課長のほうからさせていただきますので、よろしく願いします。

葛西課長 15:24～15:26

本会議終わったばかりで大変お疲れのところ恐れ入りますけれども、私のほうから天売複合施設の進捗について説明させていただきます。座ったままで失礼させていただきます。

天売複合施設の工事につきましては、本年2月15日開催の文教厚生常任委員会の中で工事入札の公募に対して最終的に1社から申出があって、資格審査の上、その1社に入札の案内をしており、昨日3月11日に入札の執行を予定しているという内容でご説明させていただいておりました。しかしながら、今日5日、その業者から生コンなどを含む工事資材等の海上運搬に日数を要するため発注工期内での完了が困難であるということや技術職員の現地滞在期間が長期間となりまして、工事費の積算額が予定価格を超えるということの申出がありまして、その後3月8日付で正式に入札参加辞退届が提出されてきて、同日これを受理しまして、入札が不成立となったものであります。本工事につきましては、可能な限り早期着手ということに向けて業務を進めているところであります。早急に再度の公募を実施する必要があるということから、先ほど申し上げた辞退理由などを参酌しまして、工事期間、それから工事費などの見直しを直ちに行いまして、再度入札の公募に向けた事務手続を進めてまいりたいというふうに考えております。また、冒頭町長のほうから説明ありましてとおり、本件につきましては今週16日土曜日に天売島内での説明会を予定しております、その中で説明を行う予定となっております。簡単ですけれども、私からの説明は以上になります。

阿部委員長

それでは、説明をいただきましたので、これから質疑に入りたいと思います。質問のある方は挙手にてお願いいたします。

— 主な協議内容等（質疑） — 15:26～15:41

平山委員 入札の参加、不参加だということ、また新たにということ、今おっしゃってましたいろいろな費用の部分での値上がりとかを考え直すという、積算の。それというのは、いつ頃までにできると言ったらおかしいのですけれども。

酒井課長 具体的にはちょっと申し上げられないのですけれども、いち早く建設に着手したいという思いがありますので、見直すにしてもいろいろ情報をやっぱり得ていながら内容を整理していかなければならないと。今の段

階では、できるだけ早くというようなことしかちょっとお伝えできないかなというふうに考えています。

平山委員 担当課のほうのそういう事情も分かりますけれども、今島のほうに説明に行くということなので、やっぱりそれである程度の方向性とか持っていないと、この件に関してかなり、何年も遅れてきている案件ですから、本当に島民の人たちが納得してくれるかどうか、その辺がちょっと懸念されるのですが、どうでしょうか。

酒井課長 工事内容等、大きな工事だったりですとか、やっぱり離島での、今までとは離島の時代背景も異なっている部分がありますので、その辺をもう一回整理しなければいけない部分があります。ただ、それに本当に早めにということはうちの技師も話はしているのですけれども、先週あつてすぐの話だったものですから、今の段階では具体的な時期まではちょっとなかなか難しいかなと思っています。

平山委員 事情分かりました。とにかく今島民のほうに、島のほうに説明に行くということなので、なるべく理解といいますか、その辺も担当課として説明してきていただきたいなと思います。  
私のほうは以上です。

磯野副委員長 今回の説明聞いていると、決まったタイムスケジュールもなかなか立てづらいのだろうと思うのですけれども、例えば後ろに延びるとして、大体の、担当課としてこの辺までにはもう一回公募し直して、この辺で入札して、例えば年内のこの辺からかかりたいという大まかなところもないですか。

酒井課長 今回業者のほうから聞き取った内容を、まずどういうふうにという部分を分析してからになるものですから、今の段階ではちょっと難しいのかなと思っています。また、実際昨年秋ですか、公募開始してから今年経過していますので、その辺の時間だとかも考慮しながらスケジュールもちょっと詰めていきたいと思っていますので、今段階ではできるだけ早くとしかお答えできないと思っています。

森 町 長 先ほど葛西課長のほうから主な原因として2点、生コンと工事費の問題  
ということ報告させてもらいました。工事費に関して言うと、それにつ  
いては積み重ねがいろいろあった上で最終的に判断することになるわ  
けでありますけれども、とにかく生コンを運べない限り工事そのものが  
成立しないということですので、今までそれに対して何もしていなかつ  
たわけではなくて、一旦はいろんな業者との打合せの中で何とかなるの  
ではないかというところと、具体的に詰まってきた中で、それは現状で  
は入札日、3月11日までの間にその解決策が見つからないということが、  
一時は大丈夫という話もあったのですけれども、なったということであ  
ります。したがって、生コンの運搬をどうするか、もし運搬できな  
ければどうするかということに対して一定の時間を要するということが  
あります。それに対して今時間が、例えば1か月後だとか半年後だとか、  
そういうことに関しては現時点ではちょっと確定したものがないので、  
言えないということでご理解願えればと思います。

磯野副委員長 今の生コンの運搬についてなのですけれども、当初のいろんな説明の中  
で、天売は時間的な問題もあったのですけれども、時間的には今の、何  
とか化学薬剤か何か使って少し時間を延ばすという、そういう認識で、  
運べるけれども、運搬手段という問題ということで認識していいのです  
か。理解していいですか。

酒井課長 基本的には生コン自体1時間半というのがありましたので、フェリーだ  
とか台船にしても、やはりそういうようなものを活用しながらの輸送と  
いうのを考えておりました。台船だとか、天候の部分だとか、フェリー  
にしてもどうしても時期的な部分がありますので、それを加味するとな  
かなか最初当初設定した工期の中では難しいという話になっております。

村田議長 1点確認で、今までの経過については大体理解はしているのですけれど  
も、自分が一番懸念する材料としては、先ほど課長の答弁でもなるべく  
早く次の入札にいきたいということしか答えられないということなので、  
懸念するのはやっぱり来年度、令和6年度に入札があって、少しそこ  
に取っかかりとして入っていけるかどうか。もしそれが駄目だとした  
ら、また3年でできないというものが令和6年度からなかなかスタート

し切れなくなってしまうようなことが起きれば、それだけは私としては避けたいという部分の思いがあって、そこら辺の見通しでもあれば、お伺いしたいなと思うのですけれども。

酒井課長 年度でいいますと、当然令和6年度中には入札なり契約ができる形でのスケジュールは、遅くてもそこには持っていきたいというふうに思って、また6年度中でも手法によってはどうするかという部分がありますので、ただやはり6年度中には業者を決めれるようなスケジュールは遅くとも考えていきたいと思います。

村田議長 そういう考えで進んでいくと、令和9年度には完成をするという、6、7、8の1年延びるということでもいいのかな。

酒井課長 そういうもの、理想としてはそうはしたいのですけれども、業者のほうで工期の部分だとかお示しありましたので、そういう部分をやっぱり一回精査をしなければいけない部分があるものですから、そういう部分でもクリアになれば当然そういうふうなスケジュールに持っていきたいというふうには思っていますので、今その辺を精査している最中なものですから、なかなか今日の段階ではちょっとそこまでは言えないのですけれども、目標としてはそのように考えています。

平山委員 分からないのだけれども、今入札に参加しますよと、1事業者が今月の8日に不参加と言ってきたのですけれども、今の話の流れでいくと6年度中、いろんなものを精査して、見直しかけてやりたいということだけれども、それというのは入札しますよと名のり上げて、1社だけのことを考えてやるということ、それともさらにしてもう一回かけるのか。

酒井課長 当然条件が変わることで手を挙げてくる業者がいるかもしれませんので、そうなるやっぱりもう一度広く公募する形になります。

阿部委員長 ほかがございませんか。ありませんか。(なし。の声) なければ、私から何点か確認です。これが全て町側が責任あるということだとは思ってはいません。この部分、生コンの件に関しては当初から自分もちょっと心配

には思っていましたので、やはり現実的にそうってしまったのかと。あと、輸送の部分に関しても、自分も実際ふだん仕事の中で島に渡って仕事するという部分でかなり、特に夏場なんかは自分たちの車も積めないような状況というのがありますので、やはりこういったことが起きてしまったのかなと思っています。ただ、ちょっと残念なところが、やっぱりこういった大きなものを建設するに当たっての周りのバックアップ体制というのがちょっと、町だけではないです。いろいろな関係団体、関係機関とのそういったところがなかったというのがちょっと残念だなという思いは正直あります。これで本当に離島での大型事業の現実というのも改めて気づかされた部分もありますので、今後町側のほうで公募の時期であったり、内容等の精査するということですので、どこまでどうできるか分からないですけれども、私自身も何とも言えない部分はありますけれども、やはり精査するところは精査ししっかりして、ある程度いろんなどころから聞き取って、協力もいただきながら、できるだけ早い時期に着工できるようお願いしたいと思いますので、改めてそれに対して何かあればご答弁いただきたいと思います。

森 町 長

前回2月15日、そのときには3月11日の入札に向けて進んでいますという報告をしたと思います。実際にそこまでに関しては、当然うちの技師も相手もプロですから、全部入って、ある程度進めてきたのですけれども、結果として3月11日に入札できないということになることに関しては、やっぱり町に何も責任がないというようなことをこの場で言うつもりはありません。ただ、今おっしゃったように、いわゆる関係機関、それに関わっている、今島にいろいろ関わっているところに調整の部分でやっぱり難しい部分があった。その部分で甘かったと言われれば、反省をせざるを得ないかなと思っています。ただ、島の人たちに、いわゆる手も挙げた業者は事前調査に行ったところ、非常に直接声がけも含めてどんな協力でもするから何とかやってほしいというような、そういうこともあって、何とかしてあげたいというようなことがこの間に思いとしてはありましたけれども、最後のぎりぎりのところの詰めの段階で現時点ではそれが期間内に応募することができないような状況、先ほど言いましたけれども、生コンが主な原因なのですけれども、そういうことになったということでもあります。やはり何らかの形でその先のことを本

来説明できる段階で委員会を開くまで持っていくことが当然のこととして思います。ただ、現実的に最終的にそれがいったのはいつとは言いませんけれども、この1か月の間、つい最近にできたことということでもありますので、それに向けてその解消に加え、今までの既定路線の流れの中で解消に向かうか、全く違う発想を持ちながらやらない限りできないということも考えられなくはないと思いますので、目標としては来年度、6年中の入札というのは何とかずらさないでできるのではないかなど期待を持っていますけれども、それ以降についてはこれ以上話ができないということでもあります。いずれにしても、一番期待をして、延びることによって、これまで本当に相当待たされているわけですから、一番やっぱり残念な思いをするのは島民ですから、言えること、言えないことというよりも、基本姿勢としてはやるのだということは私自身、担当課も含めてぶれていませんので、結果としてこういうことになったとおわび申し上げながら、やるという結論は変えないということの前提で島に行ってきたと思いますし、議会にもそういう報告させてもらいたいということにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

阿部委員長

いろいろと進んでいく中で議会のほう、委員会のほうにも説明できる部分そろったらまた説明していただきながら、進捗状況のほうは確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。  
ほか質問等はございませんか。(ありません。の声) よろしいですか。(はい。の声) それでは、質問もないようですので、以上をもちまして文教厚生常任委員会を終了いたします。お疲れさまでした。